

2022年3月期 第1四半期決算説明会 質疑応答

2021年8月2日
株式会社ジェイテクト

Q1. 生産は計画どおりだったのか、お客様要因等でアップダウンの振れがあったのか。

A1. 生産計画に対して大きな振れはなかった。半導体不足等により一部のお客様が減産し、北米、欧州で影響を受けたが、一方で他のお客様では上振れもあったため、全体としては若干のマイナスとなった。

Q2. 前年3Qと同等の利益が見込めたという説明があったが、実績（89億円）との差は何か。

A2. 北米・欧州の半導体不足等の影響、インドネシアを中心としたコロナの影響等がなければ昨年度の3Qぐらいの利益になっていたはずだと考えている。

Q3. 事業利益の売上増減影響について、20年度第1四半期は前年同期比▲475億円、21年度第1四半期は前年同期比+338億円になっている。売上は2年前と同等レベルに戻っているが、売上増減影響にこれだけ大きな差が出ているのは何故か。

A3. 売上が落ちる局面では不効率が大きく出るという面と、商品構成の変化の大きく2点がある。また、中国が売上の絶対額は維持しているものの、利益率が落ちてきている。ステアリングを中心にAPRを含めた売価ダウンに対して原価改善が追いついていない。

Q4. 昨年度、構造改革について、急激なダイエットを行ったためリバウンドのリスクがあるという説明だったが、今回の説明ではコスト改善が想定以上にうまくいっているように聞こえた。取組みや成果について説明して欲しい。

A4. 前年度からグローバルの固定費の抑制・適正化を継続している。軸受事業については省人化、無人稼働が定着してきているし、他の事業でも大部屋活動等による不採算型番の収益性改善が進んでいる。また、本部間のダブリ解消によるムダ削減などの地道な活動の積上げが効果になって表れてきている。収益体質が身についたか？と問われれば未だ途上だが、しっかり進捗している。

Q5. 半導体不足の影響について、サプライチェーンの混乱等あると思うが、今後の影響はどうか。

A5. サプライチェーンについては代替仕入先等きめ細やかに対応しており、現在のところ当社の生産に問題はなく、お客様にご迷惑はお掛けしていない。お客様が半導体による影響を受けて減産されるリスクは継続するが、今後の影響は不透明。「売上予想を据え置いた部分＝リスクとみている」と捉えていただきたい。

Q6. 工作機械について、受注動向はかなり戻ってきていると思われるが、ジェイテクトはどのような状況か。下期以降のコスト削減の中身は何か。

A6. 足元含めて、若干戻ってくるとみている。日本、北米で回復傾向。中国の受注も堅調。但し、一般的には、一般機械、精密機械の分野を中心に受注が回復していると思われるが、弊社はその分野に十分に

タッチしきれていないので日工会のトレンドよりは低めになっていると思われる。
コスト削減については、グループ内で IoE や試作等の分野でシナジーを生み出していこうという考え方の中で、グループ会社や他本部に人材を送ることを含め、効率化を図っていく。

Q7. 軸受の事業利益率が 5%台だが、今後も利益改善が進むと考えて良いか。

軸受事業が会社全体の収益性改善のドライバーという理解で間違いはないか。

- A7. 利益改善の余地は大いにある。無人稼働はまだまだ進む。不採算の型番も十分に潰してきていない。グローバルでの工場の寄せ止めや拠点統合等も実施していく。
収益性改善の鍵は軸受事業が握っているとの理解で間違いはない。その間にステアリング事業の収益力向上を加速させていく。

Q8. 20 年度下期と比較して、利益水準が低下しているようだが要因は何か。

- A8. 特に変動費部分（材料価格の高騰、物流費の高騰、異常対応等）がマイナスに作用しているほか、人件費が以前の水準に戻っていたり、研究開発費についても中計に向けた種まきなどで昨年度の 3 Q ぐらいからは増えてきている。また、設計、生産技術部門は意図的に先行して要員を増やしている。

Q9. 赤字になっている、あるいは赤字幅が拡大している事業や地域はあるか。

- A9. 赤字の事業はない。地域としては欧州。欧州はこれから構造改革を本格化し、23 年度には黒字化の計画。半導体とコロナの影響を受けて、欧州は赤字幅が大きくなってしまっている。

Q10. 柱だったステアリングが中国や欧州で苦しんでいると思うが、これからどのように改善していくのか。

- A10. 欧州は 23 年度の黒字化に向けて、構造改革を順調に進めている。中国のステアリングについては欧州の競合を中心に競争に晒され、それに見合うだけの原価改善ができていなかった。足元 2～3 年は原価改善による競争力の回復に注力する。

以上